

掛田自治協議会からのお知らせ

# 掛田の広場



第36号  
2023年12月28日  
掛田自治協議会  
＜発行責任者＞  
会長 大友靖子

「ふるさと霊山会」最後の総会並びに交流会となり、27年間会の活動推進を支えて下さった霊山町総合支所関係の皆様はじめ、霊山町町民の皆様には大変お世話になり深く感謝申し上げます。



また、今回は「ふるさと霊山会」最後の総会並びに交流会となり、27年間会の活動推進を支えて下さった霊山町総合支所関係の皆様はじめ、霊山町町民の皆様には大変お世話になり深く感謝申し上げます。



東京ふるさと霊山会  
会長 菅野 正之  
(神奈川県横浜市・石田出身)

「路面電車を偲ぶ会」代表の安齋武さんの語り部、「霊山太鼓保存会遠征組」による演奏が行われ、会場にはキッチンカー、マルシェでは地場産品の販売、掛田自治協議会による甘酒が振る舞われ多くの来場者で賑わいました。



掛田自治協議会事務局長  
佐藤 邦宏

## 東京ふるさと霊山会再開、そして最後の総会

「東京ふるさと霊山会」の解散を惜しむ声の中において、今後ふるさと霊山の思い出を忘れることなく大切にすることをみんなで確認し、何時かまた会える事を楽しみに「東京ふるさと霊山会」を閉じました。

11月12日に掛田驛で「路面電車復刻記念イベント」が行われました。朝、綺麗に復元された懐かしい路面電車がトレーラーに乗って掛田驛に帰ってきました。大きなトレーラーで吊り上げられた電車は掛田驛に敷設されたレールに載せられ在りし日の姿を披露することになったのです。

## チンチン電車が掛田驛に帰ってきた

子どもの村に展示老朽化した1115号車で地元シンボルとして福島交通が1年かけて修復しました。鉄道が走っていた街「掛田」、当時の歴史をさらに知ることができるとは感慨深いものがあり、掛田の遺産として大切に残していきたいと思われました。

## 第4回映画祭を開催して

11月18日(土) 霊山中央交流館に於いて第4回となった映画祭を開催致しました。上映作品は「日日は好日」で、樹木希林さんが2018年9月に75才で亡くなった遺作の作品です。午前と午後の2回の上映会を行い、合わせて約100名の方が鑑賞され、皆さまから大変喜んでいただきました。



## 老人クラブ地域活動奉仕事業実施

老人クラブ掛田第二松寿会(会長鈴木友治)、掛田第三松寿会(会長鈴木孝)は10月12日早朝、地区内の亀岡神社境内や参道等の清掃奉仕作業を行いました。6年ぶりに亀岡神社「神輿渡御祭」が斎行されるに伴い、会員22名が参加し、参道脇の草刈りや紫陽花の剪定、境内及び参道の木葉の整理や側溝の泥の整理作業などに汗を流しました。



## 学生の力を活用した 集落復興支援事業

昨年より繰り広げられている東京芸術大学生による、「学生の力を活用した集落復興支援事業」は2年目に入っています。勿論学生の皆さんも本業があり、福島への支援も限定されるのは止むを得ないところで

このほど、11月29日(水)にZOOM会議による、打ち合わせがありました。その中で藝大生から「掛田の街を彩ろう!ワークショップ(仮プロジェクト名)」の提案がありました。これは掛田町内に「掛田のシンボルフラッグを掲げ、町をカラフルに染めよう」というものでした。シンボルフラッグには掛田の皆さまに思いの〇(まる)を描いて頂き、書いて頂いた〇を使って藝大生がデザインするというものです。皆さまが描いた〇を使って出来るシンボルフラッグの仕上がりが楽しみです。期待しながら暖かく見守りましょう。



地域づくり部会長 八島 豊吉

## イベントのお知らせ

- **カンナの球根を希望される方**  
霊山中央交流館までお申し出ください。  
※数に限りがございますので先着順とさせていただきます。
- **年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動**  
令和5年12月10日(日)から令和6年1月7日(日)まで  
スローガン「なにで来た?」乾杯前の合い言葉
- **子ども食堂**  
1月27日(土)、2月24日(土)、3月30日(土)  
午前11時半～無くなるまで 霊山中央交流館
- **「令和6年度伊達市二十歳のつどい」(成人式)**  
令和6年1月7日(日)午後1時30分～ 保原町体育館
- **茶白山清掃**  
4月に予定をしております。日程は後日お知らせいたします。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

## 編集後記

今年もあっという間に12月。夏は猛暑続きそして残暑も引きずりやっと思ったら朝晩の急な寒さが身に沁み、短い秋だったように感じられます。各部署の皆さんもコロナも落ち着き活発に動き出し、予告や報告と紙面がすぐに埋まるようになり、いよいよ重要な役割が望まれ試行錯誤での編集作業となりました。ここからようやく「掛田の広場36号」を皆様にお届けできます。これからもご意見・ご要望もよろしく願っています。寒さに向かいます、健康にご留意され新しい希望の春をお迎えください。

お問い合わせ先 霊山中央交流館  
電話 586-1314 FAX 586-3391  
e-mail kakedajichikyougikai@aioros.ocn.ne.jp

## コラム

今年も師走を迎え忘年会や新年会など飲酒の機会が増える時期となった。伊達警察署管内での飲酒運転逮捕者が10件(昨年比+9件)と急増している。理由はともかく驚くべき数字だ、飲酒運転根絶。とこれまでも叫ばれて来たが実態に驚かされている。

飲酒運転の責任の重大性の再確認。重大事故を起こすリスクが非常に大きくなる。行政処分/免許取り消し。罰金/酒気帯びの場合50万円以下、酒酔いの場合100万円以下。飲酒ドライバーへの車両提供・酒類提供・車両同乗が禁止されている。年末年始は何かと気ぜわしい時期だけに今一度「酒と車」について考えましょう。



# 霊山りんどうコーラス 50周年記念コンサート

霊山りんどうコーラスは、昭和48年に掛田小学校のPTAで合唱されたお母さん達で結成され、今年で50周年を迎えることが出来た。10月8日に霊山中央交流館で50周年記念コンサートを開催、多くの皆様にご来場頂きました。心から御礼申し上げます。ありがとうございます。

又、「茶臼山を未来につなごう実行委員会」と共催で、霊山町掛田出身の上村セツ子様が作詞された「桜の茶臼山」を初演させて頂きました。茶臼山は私達の年代の方なら誰でも小学校の遠足で登った思い出深い山です。歌詞にあるように茶臼山は今でも、春にはやまぶき、かたくりが咲き、山一面に白化粧をして私達を楽しませてくれます。「桜の茶臼山」はとても歌いやすいメロディーなので多くの皆様に歌って頂きたいです。小学校や中学校でも歌ってもらえたら嬉しいですね。

私達もあらゆる機会に歌って広めていきたいと思っております。



去る10月28日(土)、10月29日(日)に第51回霊山町文化祭が霊山中央交流館、霊山体育館にて開催されました。両日ともに天気に恵まれ、多くの来場者がありました。コロナ禍では受付で体温測定、手の消毒、マスク着用、氏名を記入しての対策をとりましたが、第5種に移行した今年は、ご案内のみの受付を行いました。28日のオープニングセレモニーでは霊山三育認定こども園児による太鼓演奏と認定こども園神愛幼稚園児による鼓笛演奏が行われ、観客から大きな拍手を頂いていました。

その後、開会式終了後芸能発表がはじまり、歌あり踊りあり、棒術ありと多彩な芸能が発表されました。その中でも、4年ぶりに参加してフォークダンスを披露された霊山フォークダンスクラブさんにはステージに花を添えていただきました。

カラオケでは花が上がり大いに盛り上がりました。

展示はシルバーパー作品展と同時開催でしたが、日本画、陶芸、生け花、その他に協賛で掛田小、小国小学校の児童作品、霊山中学校生徒の書道作品も展示させて頂き、家族連れが訪れました。「天蚕の会」では美しい色の天蚕に来場の皆さんは魅了されていました。おはなしおかあさんでは児童の作品を展示して、それを作った子供たちが自分の作品を見つけると喜んでいました。

年々、加入文化団体が減少し芸術、展示も寂しさを感じますが、霊山町の皆さんに文化祭を通して文化

## 第51回霊山町文化祭



## 老人クラブ女性リーダー研修会

去る10月24日は伊達市老人会主催とする5町の女性リーダー研修会が開催されました。これは県内各市(地区市町村)で活動を実践している女性全員が一同に会し、老人クラブ組織活動の活性化を図ることを目的とした研修会です。今年には霊山町が担当し約70名の会員が出席して行われました。



式典の中で二つの連合会が会員増強運動優秀クラブ連合会表彰を頂きました。式典後は前「孝の郷」施設長、八島利幸先生より「笑いと尊敬に包まれて」の講演。社会福祉協議会の出前講座による「気をつけよう身近なこと」と「温もりのある活動」「故郷を思い出す活動」「知識経験を活かす活動」「新しい仲間も出きる活動」のお話を聞きました。短い時間でしたが大変有意義な半日でした。

霊山町老人クラブ連合会女性部長 佐藤 淑子

## 掛田の歴史を訪ねる ウォーキングに参加して

10月21日(土)晴天の中、掛田の歴史を訪ねるウォーキングが開催されました。16名の参加者と共にウォーキングがスタートしました。最初に訪ねたのは三乗院です。住職さんより三乗院は歴史ある大事な文化財であり、これからは大切に守っていか

の風を感じていただけると、今後もそれぞれに活動に励んで頂き、来年第52回文化祭を開催したいと思っております。各団体、随時会員を募集しておりますのでよろしく願います。

霊山町文化団体連絡協議会 事務局 齋藤 美和

## にぎやかにシルバーパー作品展

老人パワーを遺憾なく発揮した「シルバーパー作品展」は、10月28日、29日にかけて行われました。

今年で第39回を数え、近年は「霊山町文化祭」と合同で行われており、見学に来た方々を楽しませました。

書道、編み物、木目込み人形、切り絵、木工品、盆栽、一閑張りそして、様々の野菜類など、実に多彩にわたる作品の数々。総数は個人作品544作品、団体作品9作品が展示され、長い人生の中で、勝ち得てきた技術、手腕を發揮していました。霊山総合支所長様をはじめとする審査員の皆さんを悩ませる作品展となりました。



閉会式では、表彰も行われ今年この作品展は幕を閉じました。

霊山町老人クラブ連合会庶務 八島 豊吉

名高い「満田屋」から練問屋「渡川問屋」までを散策しました。一軒一軒が個性的な店構えで見学のみならず買い物・食べ歩きに予定時間が足りないとの声が多く聞かれました。

恵日寺に近い「道の駅ばんだい」にて最後の買い物をして、帰還の車中は八島部長から戊辰戦争にて敗戦後日本最初の女子留學生「大山捨松」「新島八重や瓜生岩子」等日本近代化を築いた子女を多く輩出した歴史の逸話をお話、充実した一日を過ごさせて頂きました。

健康福祉部会長 八島 利幸



## はつらつ教室 「タイムバック」作成

9月15日(金)30名の参加でエコクラフトに挑戦しようと、新聞紙を使って「タイムバック」を作りました。

花桃色の素敵なバックが仕上がりました。出来上がったバックはシルバーパー作品展に出展、団体奨励賞を頂きました。

「新聞紙とは思えない」「包装紙やお気に入りのカレンダーで作ってもいいね。」「しっかりしている。」などの声があり、次につながる楽しい活動になりました。



掛田自治協議会 大友 靖子

## 「茶臼山懇談会」道標・看板製作

茶臼山は古く南北朝時代、懸田氏が北畠氏からの命で懸田城を築いたと言われる歴史ある山です。戦国時代にはここからあちこちへ出兵し手柄を上げ、3代目俊宗は伊達家14代の種宗の絶世の美人娘・懸田御前を迎えました。その後伊達家の内乱「天分の乱」に引き込まれ懸田城も戦乱の舞台となった、ドラマが語り伝えられている歴史の山です。

掛田地域は養蚕で名をあげ全国的にも有名な養蚕の産地となり「掛田シルク」として栄え、当時の皆さんが桜を植え、さくらの山となり、陣場屋さんが「茶臼山陣平公園」として整備し、県北有数の桜の名所となりました。山腹には料亭もありました。その後は桜の木も老木となり近年荒れ山になりつつありました。この歴史ある里山「茶臼山」を整備し地域の憩いの場所・公園へと声が上がり、掛田自治協議会・地域づくり部会が中心となり「茶臼山懇談会」を立ち上げました。

近年「山城」ブームや「文学碑」の愛好家の皆さんが他地域からもよく登られ、他にはない魅力の山になりつつあります。その中で遊歩道の整備と案内版が欲しいとの声に「徳が森プロジェクト」で経験のある森久保操さんの力をお借りし、山の道順と案内板の作成に取り掛かりました。

これを機会に多くの皆さんのご参加ご協力をお願いし継続していきたいと願っております。

どうぞ皆さん、整備された遊歩道を歩いてみてください。いい山ですよ。茶臼山。

総務企画部会長 佐藤 吉彦



## 子ども食堂 笑顔あふれる居場所作りを目指して

11月の子ども食堂は楽しいことが盛り沢山でした。掛田自治協議会からは、福島県の民話DVD上映と駄菓子プレゼントがあり、また霊山出身の方から綿あめの実演とプレゼントがありました。

今回は、小さなお子さんを連れてご家族や小学生がいつもより多く来てくれたので、大変好評で温かい空間の中でコミュニケーションの輪が広がって笑顔があふれていました。



**【今後の予定】**  
令和6年  
1月27日(土)、2月24日(土)、3月30日(土)  
午前11時半～無くなり次第終了となります。

☆場所 霊山中央交流館  
☆ごはん代 大人300円、  
子ども(高校生まで100円)  
未就学児 無料

りょうぜんマルシェ実行委員会  
子ども食堂おいでよ 渡邊 忍

